

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	交通計画事務管理事業			会計	款	項目	大	小
				01	08	04	02	01
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	都市計画課				
施策	1-8	利便性と快適性を重視した公共交通機関の整備充実	主管課長	中山 貢一				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	交通機関を利用する市民等	意図	円滑な交通計画事務の遂行を図れるようにする。
事業内容	交通計画共通の庶務経費の予算執行を行う。交通計画関連事務を適正に行う。			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年8月のつくばエクスプレス開通や、バス交通の充実により、市内の交通利便性は向上している。 TX沿線整備による人口増加に伴い、市民の交通に関するニーズは多様化している。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	歳出伝票処理件数	21	28	17	件	→→
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	関係機関との円滑な情報交換や、最新の交通計画情報を得ることにより、質の高い交通計画の推進を行うことができる。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） <ul style="list-style-type: none"> ・運河駅施設整備事業が終了したことに加え、物品購入を計画的に行ったことから、伝票処理件数が減少した。 ・事業費が減少した要因としては、運河駅施設整備事業が終了したことによる。 			
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,223,169	1,736,200	3,674,240			
事業費(b)(円)		720,709	1,247,110	219,607			
うち一般財源		720,709	1,247,110	219,607			
職員給与費(c)(円)		502,460	489,090	3,454,633			
人役・職員(人)		0.07	0.07	0.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・TX沿線都市連絡協議会の幹事となり、事務量の増加が懸念されるが、引き続き常に削減意識のもと業務の執行にあたる。 	③取り組みの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・TX東京駅延伸や、協議会幹事による事務量の増加 ・協議会等負担金の引き下げ
②今年度(H26)に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・TXの東京駅延伸に向けた沿線都市との連携 ・TX沿線都市連絡協議会の運営、及び沿線イメージアップ事業の推進 	④今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き削減意識を持って遂行していく。